



学校・  
教職員P

## 新たなPTAのマインドを求めて

PTA活動は、何のためにあるのか。  
PTA活動のメリットは何か。  
保護者も教職員も「参加したい！」と思うPTA活動とは、どのようなものか。  
保護者も教職員も子供たちも「わくわくするPTA活動」とは、どのようなものなのか。  
そのようなことを改めて考えています。

まずは、知ること。

11月22日（火）、本校PTA本部役員さんとともに、多くのメディアで紹介されている横浜市立山内小学校を訪問し、お話を伺いました。

校長室入口に立った瞬間から、山内小学校PTAのみなさんの「わくわく」が伝わってきました。お話をしてくださったのは、校長先生、PTA本部役員、あったかパートナー（活動ボランティア）の5名のみなさんでしたが、立場や役割は違っても、全員が自分たちの学校を愛している、自分たちの子供たちのために自分たちのもてるものを役立てたいという気持ちに満ちあふれていました。

言うまでもなく、わくわくするPTA活動のための仕組みづくりも大切です。しかし、もっと大切なのは、「こと」ではなく「マインド（気持ち）」。あえて言うなら、「情熱」なのかもしれません。

最近では、「地域とともにある学校（地域の方々と「どのような子供に育てたいのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、地域と学校が一体となって連携・協働しながら学びを展開していく学校）」にしていこうという考え方があります。教育は、学校の中だけで行われるべきものではなく、予測困難な将来、多様化・複雑化する今を生き抜くためには、地域総がかりで子供たちを育てていく必要があります。

今年度も、習字、調理実習、生活科のまち探検、除草作業、登下校の見守り、みなみんフェスティバルの際の車の誘導など、多くの方のお力により学校教育が成り立っています。

自分の仕事、自分の趣味、自分の得意なこと、自分にもできることを子供たちのために。

「わくわくするPTA活動」を一緒に創っていきませんか。

→視察の様子が、山内小学校インスタグラムに掲載されました。



yamauchi.e.s 【視察】  
今日のような形は初めてかなあ？

茨城県小美玉市立小川南小学校の校長先生、教務主任の先生、そしてPTA本部役員、計7名が来校しました。

「山内小学校のPTAや地域を巻き込んだ活動の話をお聞かせほしい！」

熱い校長先生からのお電話に応えられたかは分かりませんが、「共育・共創の学校づくり」「ワクワクPTA」についてガッツリと語り合いました。

山内小からはPTA本部役員2名と合ったかパートナーさん（1名）。

未来志向で、学校と保護者、地域が、どのように絡み合うべきか、多くの意見交換をすることができました。

視察や取材等、ある度に、これまでの山内小、今の、そしてこれからの山内小を考えます。

少しでも、山内の良さが伝播し、他校の良さを取り込みながら、次を見据えます。

小川南小学校の皆様、ありがとうございました。  
ご縁を大切に、これからもよろしくお願いたします！

まなび  
P

## 11/24.25 2名の夢先生来校

こころ  
P



JFA(日本サッカー協会)が実施している「夢の教室」が、今年も5年生を対象に実施されています。

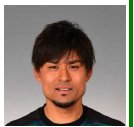
JFAによると茨城県内で「夢の教室」を実施している自治体はごくわずか。このような機会を設けていただき、市に感謝です。

夢や目標をもつことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さ、フェアプレーや助け合いの精神を、子供たちと語り合い、触れ合いながら伝えていってくれるのが「夢先生」。

今年の夢先生は、水戸ホーリーホックで活躍していた保崎 淳（ほざき すなお）先生と、大学時代に100mと200mで日本学生記録を更新、4×100mで日本記録を3度更新した高橋 萌木子（たかはし ももこ）先生です。

今日保崎先生の授業を受けた5年1組と5年2組の子供たちは、「すな先生の、『信念を貫け』『諦めずにがんばることが大事』『言葉で夢を伝えることが大事』という言葉が印象に残りました。」「夢を叶えるために、勉強も習い事もがんばります。」「すな先生が『信じてる』って言うてくれたから、夢を叶えたいという気持ちが強くなりました。」と感想を述べていました。

夢先生との時間を共有した5年生には、夢先生から一人一人にメッセージが届く予定です。お楽しみに！



保崎淳先生



高橋萌木子先生